

公益社団法人 寄居町シルバー人材センター
令和 2 年 度 事 業 計 画
(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

寄居町の人口は、20 年前（平成 12 年）に比して 4,800 人余り減少しています。年少人口（14 歳以下）が 2,800 人、生産年齢人口（15～64 歳）が 6,400 人それぞれ減少している一方、老年人口（65 歳以上）は 4,400 人増加している状況にあります。

また、国立社会保障・人口問題研究所は、平成 30 年推計において、寄居町の 10 年後（令和 12 年）の人口を 28,036 人としています。この数値は、寄居町の人口が最も多かった平成 12 年よりも 1 万人以上減少してしまうことを予測しております。

以上のとおり、近年の少子化等の影響は、寄居町全体の人口減少はもとより、必然的に年少人口・生産年齢人口の減少も惹起しています。そしてその結果、経験や技能などの豊かな財産を有する高年齢者に対し、地域社会からその振興の担い手として寄せられる期待が、年々大きくなってきております。

私たち寄居町シルバー人材センターは、このような社会の構造的要請に応えるため、基本理念「自主・自立、共働・共助」の下、より一層の安全と適正就業に配慮しつつ、会員一丸となって地域社会の振興に努めます。

これらのことを踏まえ、令和 2 年度は次の 5 項目を基本方針に掲げ、実施計画に基づき各種事業を積極的に展開してまいります。

【 基 本 方 針 】

- 1 安全・適正就業の推進
- 2 会員の入会促進
- 3 就業機会の拡大
- 4 公平な就業機会の提供
- 5 シルバー事業の普及啓発

【実施計画】

1 安全・適正就業の推進

会員の安全就業と適正就業を推進するため、引き続き法令遵守の徹底を図るなど、組織を挙げて事故防止や就業形態の適正化に取り組みます。

そのため、安全・適正就業委員会において、事故防止対策等の審議を重ねるとともに、現場巡視により安全保護具着用など「安全就業基準」の励行を図り、事故を起さない就業環境の確保に努めます。

また、植木・草刈班を対象とする安全教育講習会や全会員を対象とする交通安全講習会などを開催するとともに、関係機関・団体が主催する各種研修会や講習会への参加を促進し、更なる安全意識の醸成に努めます。

2 会員の入会促進

入会説明会を毎月2回開催し、新規会員の入会を促進します。また、会員増加を目的の一つとして、植木剪定作業体験教室などを開催します。

さらに、会員に対してセンターの意義や活動、役割等に関するきめ細やかなセンター情報を提供し、全国シルバー人材センター事業協会が進める「会員による1人1会員入会活動」の促進に努めます。

また、当センターにおいては女性会員比率が全国平均よりも低いことを踏まえ、女性会員を増やす方策についても検討します。

3 就業機会の拡大

就業機会の拡大に向けて、新規発注者の開拓に努めるとともに、以前受注のあった企業等の訪問を行います。また、引き続き一般労働者派遣事業や職業紹介事業にも取り組みます。

併せて、空き家管理対策事業などの周知について積極的に取り組むとともに、寄居町や社会福祉関係団体との連携を図りながら、福祉・家事援助サービスなどの可能性についても検討を重ねます。

さらに、全国シルバー人材センター事業協会が進める「会員による1人1仕事開拓」の促進に努めます。

4 公平な就業機会の提供

未就業会員に対する求人説明会を定期的を開催します。また、未就業会員に対して、より多くの就業機会を提供できるよう、引き続き長期就業の是正やワークシェアリング、ローテーション就業の推進にも取り組みます。

5 シルバー事業の普及啓発

センターホームページのより一層の活用をはじめ、シルバーだよりやシルバーカレンダー、パンフレットの作成配布などにより、センター事業の普及啓発を推進します。併せて、町広報誌へ情報掲載を依頼するなど、広くセンターの周知に努めます。

また、ボランティア活動として鉢形城公園などの除草作業を行い、地域に役立つセンターを積極的にアピールいたします。